京城日報

本日四頁

發行所 合資會社 京城日報社

歐洲大戰亂

▲吉將軍の新任務

タイムス紙は曰くキッチナー元帥は陸相を辭職せず又佛蘭方面の援軍を指揮するにもあらず只元帥が新任務に就くに付き一時首相が陸相を兼任する所以は此新任務たるや從來の陸軍樞機と異り東部方面に於ける最も重大なる問題に關聯するものにして元帥は此れに付き最大智識を有するものなれば聯合國と共に此の問題の完結に沒頭せんとするは寔に其當を得たる處置なりと(倫敦電報)

大典前記

▲神々しき御式

□皇靈殿と神殿

賢所を初めとして劍璽京都に移御あらせられ、皇靈殿と神殿は東京宮城に在すにより、御大禮の當日東京の宮城に勅使を立てられ、兩殿に奉告せしめらる、其日御殿を裝飾し、大禮使高等官著床、神樂歌を奏する中御扉を開き、神饌幣物を供し、掌典次長の祝詞あり、東帶の侍從勅使として拜禮、御祭文を奏し、尙ほ大禮を行はるべき旨奉告せらる、又五衣唐衣の女官皇后宮の御使として拜禮あり、又神樂歌を奏する中に幣物神饌を撤し御扉を閉ぢて式を了らるゝと

□現今の紫宸殿

紫宸殿は今回の大禮に際し即位式の盛儀を行はせ給ふ聖殿なり現今の紫宸殿は寛政年間の御造營にかゝる、殿は檜白木造り、屋根は東西棟にして、檜皮葺、五本の避雷針燦々として天日に輝く、結構壯大見上げ奉るだに神々しき御建物なり前庭は南庭と稱し左近の櫻右近の橘あり、櫻は樹齢老木となりしも幹枝繁茂して毎春瓔珞梢を埋て咲き誇り、橘は御大禮の頃累々たる萬顆を連ね、黄玉を綴りて芳香馥郁たる光華を放つなるべし、殊に兩樹は南庭補設の基準と規定せられ櫻橘若し靈あらば盛儀に加へられたる光榮に感泣すべきなり

□御出廂の裝飾

御殿初め御所の聖殿は先年來御鄭重に御手入を加へられ且つ參列者の爲めに南庭を廻る軒廊に一間の架出廂を設けられたり、而して御式當日は廣東緞子織にて水淺黄と白色の緞つなぎの瀟洒なる色合の幔幕を以て軒廊を飾るべしと

□絢爛たる繡絹額

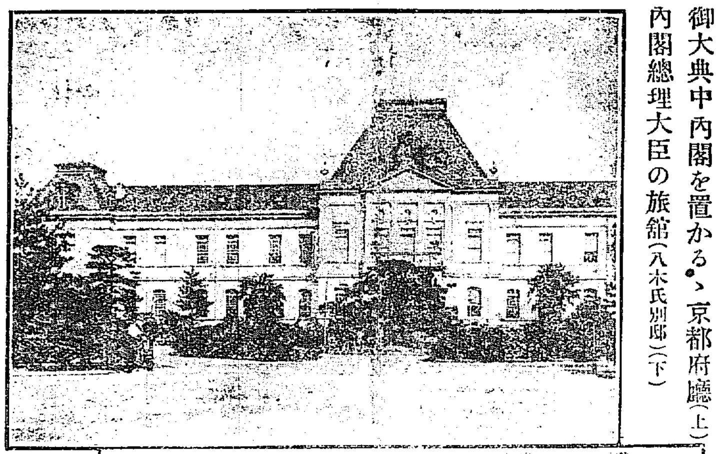
御位式當日紫宸殿の中央に高御座を設け高御座の東端より五尺三寸五分を經て、東方に御帳臺を安置し、後手なる賢聖の障子を取外し、之に代るに綵綾軟障を作り、前面に青簾をかけ紫宸殿の御額は之れを撤し、代りに五彩瑞雲絢爛比びなき繡絹額をかけらるゝ、繡絹額は幕の如き御飾りにて、丈二十五尺三寸、幅九十二尺あり、抑もこの繡絹額は古來即位式には其の時代に於ける無上の織物にて製りたる御暖簾の如きものを紫宸殿の南の軒にかゝげらるゝ御佳例にて、之を帽額と申せり、白地錦の中央に直徑五尺といふ大なる日輪體を現はし、其左右には五色の瑞雲靉靆き、小葵の地紋が瑞雲の間一面に現れ居れり、これは表地にて、中に羽二重と大和錦とが挾まれ、表地には綿布を用ひ、それに日際の篆の刺繡を施せり、總重量百貫目に達すと

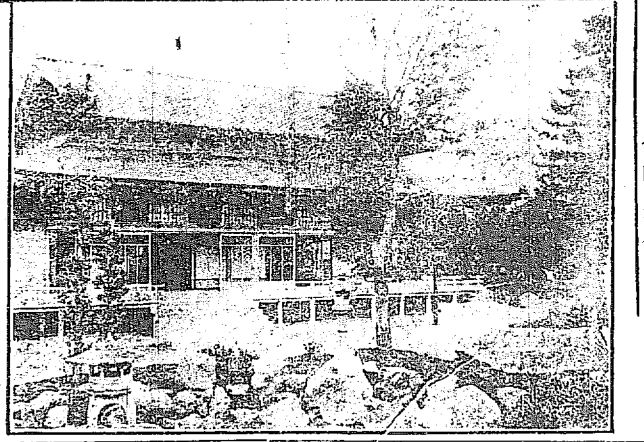
□紫宸殿上諸員

紫宸殿上の諸員は外國代表者を除く外東帶女子は五衣を著す而して皇太子、親王、王は高御座前下に北面して本位につき式部長官、次官、大禮使長官、次官、首相、宮相をはじめ元老、大臣等は南廂の西階に列を作り東面して整列す、一人の制當ては殿上方一尺四寸、外國使臣は高御座の西手即ち殿上の西廂の空所に參列し各自大禮服を著用すべしと

□皇后陛下御座

皇后陛下の御帳臺は、登極令式の通り安置さる、陛下には當日出御なき故、御帳は垂れたる儘として臨期出御なしとの名儀を用ゐさせらるゝ事になりしよし皇后陛下の即位禮に御帳臺に於て出御の事は、登極令に始めて規定せられしものにて其以前は高御座の東方帳前に女官と共に御參列遊ばされたり、明治天皇の時は昭憲皇太后御入內前なるを以て御參列のありようなく、孝明天皇の時は英照皇太后が十七歳にして御入內即位禮大嘗祭すみて后冊立せられたるを以て矢張御參列なかりしなり





御大典中內閣を置かるゝ京都府廳(上)　內閣總理大臣の旅館(八木氏別邸)(下)

▲獨京より士都へ 直通鐵道運轉す

獨逸公報に曰くニッシュ占領の結果伯林よりニッシュ、士都に直通する鐵道列車を運轉し得るに至れり因にニッシュ陷落と共に塞兵三千餘名捕虜となれり(紐育電報)

▲希臘內閣改造

希臘首相サイトス氏は內閣の改造を委托されたり議會は多分解散せらる可し閣員の多數は後繼內閣に居据る事となる可し(倫敦電報)

◎元山水道通水式

豫て工事中なりし元山水道竣成したるを以て村井府尹は八日午前十時重なる官民を配水池構內に招待し盛大なる通水式を擧行せり(元山特電)

◎志立總裁

支那漫遊中の志立日本興業銀行總裁八日午前阿波丸にて上海より著鐵路歸京の途に就けり(門司特電)

東京發別電

▲日本商船遭難

我商船地中海に於て獨逸潛航艇に擊沈せられたりとの飛報達し歐洲航路業者の恐慌を惹起せり

▲支那南方不穩

支那南方各省に於ける帝政反對運動激烈にして革命運動勃發の兆あり

▲延期を承認せん

支那政府は四國の勸告を容れ遂に帝政延期を承認すべし

▲對支態度決定

八日午後一時京都に於て閣議を開き帝國の對支態度を決定す

◎講習會閉會式

道府郡書記講習會閉會式は既記の如く八日午前十時より總督府第二會議室に開催し七十五名の受講者は勿論山縣政務總監、關係各課長講師等參列し政務總監より左の訓示ありて式を閉ぢ夫れより表玄關前の廣庭に於て一同記念の撮影を爲し午前十一時散會したり

訓示

本日道府郡書記講習會閉會式を擧行するに當り一言諸子に告ぐる所あらむとす

諸氏は開會中鋭意研究に努め且つ各講師の懇篤なる講演を聽取して會心する所尠からず以て豫定の講習を終了したるは本官の滿足とする所なり、然れども本講習會の效果は之を將來の活動に待たざる可からず、諸子は今後一層職務に精勵し以て講習會開催の旨趣を空せざらむことを期す可し

顧に始政以來茲に五周年地方行政も亦諸般の施設逐年其歩を進め改善の跡大に見る可きものあり、然れども之を大局より見るときは僅に進歩の第一階梯を上り得たるに過ぎずして將來施設を要す可き事項甚だ多く諸子の努力に俟つべきもの亦尠しとせず、凡そ地方行政の要旨は諸般の施設をして各地の實情に應じ最適切ならしむるにあり是を以て諸子は平素管內の事情に精通すると共に上長の指示する所は能く反覆咀嚼し事に當りて取捨宜しきに適ひ以て其効果を擧ぐるに努むべし、又近時世運の進展に伴ひ地方廳に於ける凡百の事務は益々繁劇を加ふべきも諸子は此間に處し力めて事務の簡捷を圖り同僚の間常に緊閑相助け以て其進捗を圖り苟も澁滯なきを期せざる可からず

終りに臨み一言す可きものあり、凡そ官規の振粛は施政の根元にして官吏たるもの須臾も忘るべからざる所なり、特に職を地方に奉ずる者に在りては實踐躬行自ら其の範を示し以て多衆を率導せざるべからず、故に諸子は廉潔を旨とし質素を重じ品行を愼み常に誠忠報公の精神を以て其の職務に精勵し以て衆人の儀表たらむことを期す可し

◎支那新朝三院

支那政府は新朝の出現後左の三院を設けんと議定中なりと傳ふ

▲翰林院 本院は各國の元老院及日本の樞密院の制に倣ひ元首最高顧問機關にして院長は徐世昌氏が就くことに內定す

▲集賢院 本院は[illegible]の制に倣ひ多數有用の人才を網羅し未來官吏を任命するときの預備とす院長は未だ定まらず

▲宏文院 は文人學士を網羅して著述を研究し以て國學の昌明を圖る所とす揚哲子院長の希望あり

◎滿鐵線最長橋

奉天蘇家屯間複線工事は本年度より繼續事業として一部の工事に著手しつゝあるが昨年度來經費節減の結果豫算の都合上數年間の繼續事業として計畫せられたるものなれども運輸事務の關係上是非共急速に之を完成せしむる必要あり殊に同所は滿鐵全線中最も長橋にて來年度の大工事の一として鐵道工事中の重要なるものに數へられ約五十萬圓の豫算を要求する筈なれば來年度に於て大部分竣工を終り明後年に至りて全部の完成を見るの豫定なりと(奉天)

◎全支那產炭額

農商部最近の調査によれば支那の石炭產額は山西直隸を第一とし山東、河南、奉天、江西を第二とし湖南、四川、湖北、安徽、廣東、陝西、甘肅、雲南を第三とするが年產額は山西二百五十萬噸、直隸一百十六萬四千噸、山東九十三萬三千噸、河南九十萬噸、奉天八十四萬噸、安徽六萬噸、廣東、陝西、甘肅各五萬噸、雲南三萬噸也(奉天)

◎支那回答と臨時閣議

陸支那外交總長は小幡代理公使に對し支那現下政局の狀勢其他を縷述し袁政府の立場を訴へたるが尙ほ同時に陸公使よりも石井外相に對し回答する所ありしを以て臨時閣議を京都に開き協議する所ありたり(京都特電)

◎立花總長慰勞宴

立花警務總長は八日午後六時半より京城ホテルに於て共進會に就き盡瘁したる警察官を始め其他を招待し慰勞の爲め開催したるが出席者多數にて頗る盛會なりし

◎會議所設立申請

京城商業會議所設立に關する連署調印は四百名の會員中八日迄僅々三十五名を除すのみとなりたるを以て八日中に全部の調印を纏め九日午前中に總督府に向け認可申請書を提出することに決定したり

◎協贊會殘務整理

京城協贊會にては十五日迄は大要の事務整理を行ひ其より京城日本人商業會議所に移轉し殘務整理に著手することゝなりたりと

◎李王職牧場と種馬

李王職に於て兼て築造中なりし水原の種馬牧場は此程廏舍落成せしより木場牧場主任は種馬六頭を引率して南大門驛發水原に著し直に收容せり

◎松山島村兩氏歡迎會

今回東京朝日新聞編輯局長松山忠次郎氏及び滿洲通信の島村抱月氏來京に就き兩氏歡迎のため早稻田大學校友會京城新聞記者團及び有志發起となり九日午後四時より京城ホテルにて晩餐會を開催す可く出席希望者は若草町横尾信一郎氏方早稻田大學校友會事務所(電話五六二)へあて申込まれたしと尙會費金二圓は當日持參す可しと

◎野田副總裁消息

目下歸省中の東拓副總裁野田卯太郎氏は福岡大學病院の稻田博士に就き診療を受けたる結果豫後の憂なきにつき數日前より肥後日奈久温泉に赴き金波樓に滯在靜養中なり

◎村田理事北鮮行

村田東拓理事は八日午前元山方面に向け旅程に上り本月末歸任の豫定にて北鮮地方をも視察する筈なりと

人事消息

▲石塚英藏氏(農商工部長官) 七日午後別府を發し馬關に一泊の上八日京都に向へり

▲吉富九師團參謀 同師部隊視察の爲め八日午前新義州へ向け出發

▲中島昇氏(新任晉州警察署長) 八日南大門驛發赴任

▲瀧元次郎氏(京畿道警務部長) 管內巡廻中の處八日歸任

▲島山虎也太氏(京城地方法院長) 御大典參列の爲め八日午前出發上洛

南言北語

革命黨は新嘉坡を本據として孫、黃の大頭目や康有爲一派迄も大同團結をやつて大活動を追つ始めようとして居る▲軍費二百萬も出來た上海には三千の死士の腕を扼して風雲を待つて居るなんて飛報は紛々として到達する▲嘘か實か知らぬが此の秋此の際支那には愈々大地震が起り相な▲北京の代表者選擧を見ると果して吾人が云つた通り名のみの選擧で選擧人が劍突鐵砲のお巡りさんの前を恐る〳〵通つて選擧場に這入る▲而して震ふ手で投票紙を受け取つて見ると最うチャーンと被選擧人の姓名が書いてある▲アイゴーぢやない支那だから吃驚とか受諾とか云つても間に合はず快々的と叱られつゝ投票箱へボカリと投げ込むと共れが民意の代表者になつて皇帝が飛び出す譯サ▲野暮な勸告なんぞは粹人のする事ではないよ位に思つて居るから幾何明確な異意のある回答をせよと云たてするものか手ッ取り早いが支那でも通りが好い相な▲其の手ッ取り早い處をやりかけて少々四九尻の觀ある帝政派は今更上げも下しもならず汗を流して皇帝と云ふ大福餅を抱へて居る▲其の內腹は減るし身體は疲れて何うでも片付けなければなるまい思ひ切つて投げ出せば心配は不用ではないか▲其れとも一と口やらうものなら石が逆折るよ▲ヤレ解散ヤレ辭職と軒に火の付きかゝつて居るのに大騷ぎをして居る希臘內閣もザイミス首相は居据りと決定したとか云ふ▲居据りは當世だからお可笑事もないが支那では大統領から皇帝に居上らうとして居るから問題が起る▲聯合軍の作戰を變更すると云ふ電報が來た大に可からうキッチナー元帥の出馬は其邊に何等かの意味はあるまいか▲精々勝つ法を講せねば取り替へましても取り替へばえがなければ取り替へる必要はない譯だ

□日奈久より　大塊

浮き沈む姿婆や湯浴の秋の人
馬肥る頃吾れや痩たり秋の暮
當地鳩山り天草島を望む
此景色支那の西湖の秋よりも

碧蹄館口占　無佛(岡)人

礪硯坂頭峽勢開。悪陰黛色入眸來。英雄骨朽山空在。行客那堪百感催。
敢唱沙棠國都。獨排非議挺單軀。碧蹄一戰敵鋒挫。賴使吾軍策後圖。

大典と本紙

御大典の御模樣は萬民の逸早く知らんと欲する所なれば我社は京都に御大典通信部を置き細大漏れなく急電を以て速報せしめ特に御寫眞は大禮使の許可を得て尋常人の拜觀を許されざる畏き邊りまで拜寫せるものなれば詳細なる電報記事と相俟ちて實に數百里外に在りて曠古の御大典を目前に拜觀するの想ひあるべし尙ほ御大典中は十日十四日十七日の奉祝日にも休業せず紙面に一般の光彩を加へ御大典報道に全力を捧ぐ讀者之を諒せよ

◎明朝刊臨時休刊

整版工場移轉及び整理の爲め明九日朝刊だけ臨時休刊、夕刊より平日通り發行す

京日案內

◎普通 一回前金三十錢(無割引) [illegible]

◎店員入用 十五六歲 希望者至急來談あれ ○京城本町二丁目 大阪屋號書店 884

◎寫眞舖讓渡 寫眞機電話及家具共至急讓渡す ○京城南大門通三丁目 萬祥堂印房 882

◎生徒募集 並に裁縫短期教授 △シンガーミシン刺繡 シンガーミシン裁縫院 黃金町三丁目 843

▲乳母至急入用 京城旭町一丁目 小森材木店 864

◎有給外務社員採用 希望者履歷書持參面談の上 京城本町四ノ一三〇 蓬萊生命保險相互會社京城支出張所 899

◎電話讓渡 料金全納三等の電話讓渡したし希望者至急來談を乞ふ(名在社) 894

◎番外 ◎當店代替りの處今回許可有之候へ共事情無根にて不相變從前通り親切丁寧に御取扱可申候(支那領事館筋) 明治町二丁目八〇 電話一〇九六番 ○南質店 873

皮膚病 花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 802

京城南大門通五丁目 御大典奉祝用旗 價代廿五錢 五十錢 發賣元 890

新炭 石炭 煉炭 たどん 卸し小賣 大勉強 諸官衙御用達 京城本町四丁目 稻垣商店 電話二〇九三番 782

◎實用新案堅牢椅子並に防水布 ◎監獄製火鉢格安賣出 是非共一度御來店の程願上候 洋家具專業 黃金町二長橋通角 松浦京城出張所 電話二三五九番 831

京城 春川 間 乘合自働車 賃金片道四圓 京城發午前八時 ◎春川發午後二時 京城明治町一 京春自働車商會 取次一八四六 支配人松田壽男 418

◎質舖讓受 明治町二丁目木塚質店の質物全部を讓受けす以後御用の方は當店に御光來被下度候 ○本町三丁目七番地 八木質店 861

家傳 りん病 三日藥 婦人淋病にも特効 到る所に代理店あり 本町三丁目五十二番地 東京救濟院京城出張所 869

眞正 元山牛肉 特色 精肉の親玉なる 開店披露の爲當分大安賣出仕候 京城本町二 元山浪精肉店出張所 870

店員入用 吳服太物商に經驗ある二十歲迄の身元保證人ある者 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城本町一丁目 ます屋吳服店 899

◎外事員 南安兵衛 右解傭候に付此段廣告候也 日本公債株式會社 朝鮮支部 900

獨學書法直訣 全一冊 特價七十錢 本書は我書壇研究會講師海岡金圭鎮氏の著術なる學書者の寶鑑なり執筆運筆、點畫法、結構、行、草、隸、八分、各體を一々圖解說明し令弟醫學士金台鎮氏は日本文にて飜譯し內地學者の便利を計れり 會員尹宾白 發行所 京城長谷川町 古今書館 分賣所 平壤水玉洞 箕城島與館

滿蒙處分論 クロパトキン將軍原著 日本大非色高譯 定價金一圓 郵稅不要 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

大典式場拜觀記(三)

京都にて 中谷青霞謹記

大甞宮

大甞宮は舊京都御苑内仙洞御所内に建築せられたり、仙洞御所は古來幾度も炎上し、現今の御建物のみ殘存せるが其林泉は年と共に古く寂び木々の茂り苔の色も幽雅に泉聲掬す可く、而して大甞宮の悠紀主基兩殿は御所の御門を入り一帶の松林鬱ぎたる彼方數百間の地にして御神域は拜殿四千三百四坪神域の西北隅に當殿あり、兩殿とも南面して東西に相並び建つ、東は悠紀殿西は主基殿にして太古を偲ぶ可き素朴なる御構造なり兩殿の神座は内陣の中央に御疊を敷き、其上に長さ六尺幅三尺の疊を敷き、北面に神の召す錦の御衾を覆きまゐらせ別に板枕を配し、白生絹の御衾及び御単を安置し、神座の東南に當り

陛下の御座

を設けまゐらせ神座の御前には種々の裝飾を施さるゝが中にも最も神秘的なるは黒木白木の御燈籠にして、これには聖上陛下親しく燭をさらせらるゝなり兩燈籠共に式臺は京都府下野郷の材料、白木は栴黒木は皮附の松にて屋根は共に松の皮を張られたり御屋根は茅萱にて棟木は松の皮付御柱はすべて櫟の皮附、御屋根の頂には鰹木の儀の千木堅魚木を据え柱は勿論掘立てにて外部四圍の下の方には竹にて蔓編の廻縁を設けさせられ、南邊大は蝦廣き緣にて御親みなる御親王以下は此の緣に佇立奉仕させらるゝなり、御天井は蘂心の近江表を張らせ御疊は土を用ゐず近江表を張り詰め軒廻りの天井裏は竹の棰に覆を張らる、總屋根の高さ三十五尺緣の厚さ二尺五寸あり、御入口の階段を設けられ

□御屋根の恰好

は伊勢皇太神宮のそれに似たり、祇柱太しく立て高天原に千木高く作りましたる天孫瓊の御舎に似て、其他の樣式より手法まですべて簡古素朴の御造りにて、一切鉋や釘を用ゐず、所謂樸木造りなるものなり、而して悠紀主基兩殿とも内陣外陣に區別せられ、四方には近江表を充て、床には阿都加草を敷き播ん竹の簀子を取つけ其上に近江表を敷き西、西南兩方に階段をつけらる、悠紀と主基の兩殿の異る所は、千木のかたそぎか前者は外にそぎ、主基の方は内にそぎてあり、大甞宮の四圍は、東西各四十間南北三十間の柴籬を繞らさる、これは秋や黒文字にて作られたるものにて隨所に榊などを挿さるゝ即ち古語の所謂瑞籬神籬神奈備など、同性質のものにて、素盞嗚尊が『八雲たつ出雲八重垣妻籠める八重垣作る其の八重垣を』の御歌も偲ばるゝ御構造なるが、現に伊勢神宮が神聖なる靈域に俗界とを區別せらるゝ爲めに瑞籬藩屏を用ゐさせらるゝのと同じ意味なるべし

御著輦當日の京都驛前(音樂隊の君が代吹奏)

京都烏丸通の夜景

東宮著御

東宮殿下大典御參列の爲八日午後三時著御京都二條離宮に入らせられたるが文武百官奉迎盛んなりき(京都特電)

日進來る 八日より十四日まで觀覽を許す

軍艦日進は七日零時半その雄姿を仁川港頭に現はし月尾島沖に投錨したり、日進は先度閑院宮殿下御台臨の御供奉艦として來仁せるが今回入港せるものなり、日進は先度宮殿下に供奉し神戸當著後直ちに海軍大演習に參加し土佐沖に游弋する事十五日間演習終了後神戸港に帝國の艦隊は全部引き揚げ全艦隊の半數は日本全沿岸朝鮮淸國一部の津々浦々に大典祝砲發射の爲め派遣さるゝとなり日進亦仁川に派遣されたるものにして十一月十日御大典當日は午後三時半

△廿一發の祝砲 を發射し十四日迄で碇泊し同日も二十一發の祝砲を發射す尚十一月八日より同十四日に至る七日間午前九時より午後四時迄一般の觀覽を許す同艦は戰鬪操練や水雷發射及び射擊等年度作業に於て優勝旗を有せる名譽ある帝國の軍艦なり

家庭に於ける奉祝は 如何にしたら宜しいか

御即位禮當日十日の御大典はわれわれ日本國民にとつて實に千載一遇の芽出度き佳日でございます此の日は各官衙商店謹みて業を休み悉しく奉祝の意を表することになつてゐますが引續き十七日までは

△各戸國旗を掲げ 緑門電飾其他あらゆる裝飾を施して奉祝の意を表することになつてゐます、又一般の催し物は十五日から十七日までの間に擧行され **提灯行列** は始め十五日夜各學校が擧行し次で十七日夜一般市民が催することになりました、さて十日の當日一般の人は何うして祝意を表したものか、此の事に就ては各官廳から既に通告した通り十日午後三時卅分大隈首相が紫宸殿御座御前にて萬歲を三唱する **同時刻** に於て一般の人も萬歲を三唱することになつてゐます京城では

△景福宮勤政殿 に於て一同萬歲を奉唱致しますが式場にはなるべく各戸から參集の上市民一堂に會して陛下の萬歲を奉唱致したいものでございます、時刻は當日の定刻の五分前に漢陽公園で一發の號砲を放ち三十分からは引續き百一發の號砲を發しますから **家に在る人々は皆靜肅に身を謹み** 煙草を吹かすとか遊戲をするとかの不謹愼を避け、神棚に御眞影を奉安してお神酒お鏡餅等を供へると共に赤の御飯を炊いてお祝ひするとか要するに自分相應の祝意を表して時刻が來たら庭前で萬歲を三唱し奉るがよいと思ひます、又御大典の十日と大甞祭の十四日とは何れも午前十時前から南山大神宮で祭典を擧げられますから市民は朝の間にお宮に詣でゝ身心を清め悉しく萬歲を唱へるも宜しう御坐いませう

高齢者木杯酒肴下賜傳達式

今回の御大典御擧行に際しては隆朝の嘉例に依り即位禮の當日を以て養老賑恤の仰出であり聖旨に依り高齢者に對して木杯並に酒肴の下賜相成る筈なるが京畿道にては京城府内の高齢者約七百名に對し十日午後一時三十分宣化堂に於て傳達式を擧行することに決定し八日夜夫々奉授者に通知狀を發したるが其心得左の如し

奉授者心得

一 當日午後零時三十分迄に無相違出頭すること
一 奉授者は實印を携帶すること
一 奉授者本人出頭すること但し病氣等にて出頭致し難きときは代人を出頭せしむること此場合に於ては委任狀を携帶せしめ代人の印鑑を持參すること
一 奉授者歩行不充分又は聾啞者なるときは相當附添人を付する事
一 服裝は非禮に渉らざる程度にて差支なし

わたくしのカチューシャ

『復活』と『剃刀』の女主人公―松井須磨子談

□―朝鮮はほんとに氣に入つて了ひました。臺灣の强烈な―臺灣の緑色といへば内地などでは想像することも出來ない强い緑色ですね―その色彩の中から逃れて釜山に上陸し、彼の緩やかな線が出來てる沿線の山水を見ますと、何か斯う太古の世界へでも歸つたやうで、ほつとして延び〳〵した氣持になります。わたくし共のやうに旅から旅、もう山陰道と東北地方を除いては、行かないところが無いといふやうに忙しい旅で、暮してるものにとつては、かう言ふ自然を見ますと、活き返つた氣持がします。

□―わたくし共は御當地では、先づ御存じの『復活』と中村吉藏先生の新社會劇『剃刀』で初日を開けますが『復活』といふ脚本は誰にもよく呑み込めるやうになつてゐまして『人形の家』のノラや『故郷』のマグダに同感の出來ない方でもカチユーシヤには能く同情なさると見えまして此脚本は昨年の三月から今までに二百十何回か上場してゐます。

□―其れにあの『カチユーシヤ可愛や』の唄ですがあの唄は今では日本中に擴つて了ひましたけれども世間で唄つてますのはなんだか讃美歌めいて居ますけれど藝術座でうたひますのはあれとは少し調子の變つたもので、日本の小唄の調子と西洋の歌謠の韻調を採つて作つた一種特別な味の有るものです。此脚本は御當地で近代劇協會が演りましたさうですけれど、わたくし共のは夫れとどれだけ違ふか、御覧になつた上で充分御批評を戴きたう厶います。わたくし共のは、出來るだけ東京で演ります儘を崩すまいと思ひまして、舞臺の光線の具合なども、出先で間に合せた電球では甘く行きませんからその電球まで持つて歩くやうなわけですから、其邊もお汲み取り下すつて御覧を願ひます。

□―『剃刀』は新社會劇の傑作として推稱せられた脚本で、私の演りますのは、女主人公の『おしか』ですが此脚本は何しろ舞臺に出て來る人が皆野心家揃ひで、筋も隙が無く運んでるものですから御覧になる方でも至るところ大層面白いといふ御評判でこれも昨年の十一月上場以來百數十回打ちました

須磨子のカチユーシヤ

汽車の奉祝 進行現場に停車汽笛を鳴し萬歲三唱

十日は朝鮮全線に亘る列車汽鑵車に國旗を交叉し午後三時三十分に至れば各線に於て進行現場に停車し汽笛を鳴らし奉祝する事となれり尚同刻停車場内にある列車乃至工場其他にても一齊に奉祝の汽笛を鳴らし現業員は現場の儀就業を停止して萬歲を三唱する筈なり

須磨子の初日 ▽八日夜の講演

藝術座松井須磨子の一行は九日夜より龍山佐久良座にて開演す可く初日の脚本は『復活』(カチユーシヤ)『剃刀』(新社會劇)と決定したりと尚八日夜七時より同座にて島村抱月氏の新劇に關する講演あり入場無料にて多數の來聽を希望すると既報の如し

旭町の出火

京城旭町一丁目百九十一番地柳田定助方生獣乾燥室より六日午後零時三十五分出火し家人の急報に依り南大門消防所員駆付け直ちに消止む原因は乾燥の火氣强烈過度なりしより生獣菌に火の移りたるものなり

◎遞信對京城野球戰 京城野球團中の錚々たる遞信俱樂部野球團對京城俱樂部の野球戰は七日午後二時半より同六時まで訓練院グラウンドに於て開催されたるが結局十一對三にて遞信俱樂部の大勝となれり

◎祝聖大法要 曹洞宗にては左の日時に國王大恩經を諷誦し今上天皇陛下の玉體康寧聖壽萬々歲を祝禱し奉る由
▲十日午前十時 大和町日韓禪寺
▲十日午後八時 若草町京城別院

◎京城聖公會(南米倉町) 十日午前十時より今上天皇御即位奉祝感謝式を執行すべし

問題の寫眞本日より
有樂館に左の大寫眞を上場す『祖國』は獨乙メソヂス會社が多大の撮影費を投じ二十萬圓の障害保險を附して撮影したる登場俳優一萬八全長五千呎の勇壯快絶なる大戰爭大活劇
新派正劇 おさながほ
大冒險大活劇 祖國
悲劇 血櫻お駒
且つ東京に於て空前の大好評を得し日本寫眞のレコード破りの評ある市村俗佛氏の大作たる『血櫻お駒』及び外國フヰルムに變りなき『おさながほ』如何に日本製フヰルムが進歩したるかを知られよ
有樂館に現る

◎製氷所の火事 市外高陽郡署管内西湖製氷所氷藏倉庫より五日午後八時四十分頃出火し[illegible]び損害額目下取調中

◎停電十八分間 八日午前七時十分より[illegible]

[illegible]島市中區一丁目番地不詳三 律忠二(三四)は住所不定のものなるが十月十[illegible]たる處前記の外數罪ある事發覺す

◎共同井戸に投身 [illegible]後九時頃無斷家出して高等普通學校[illegible]らの共同井戸に投身したり急を聞[illegible]

[illegible]港弘濟丸一、二等客 一等(一名)渡部關太郎 二等(三十八名)島村抱月、松井須磨子、澤田正二[illegible]

七日午後入港新羅丸一、二等客 一等(二名)玉水泉、後園福 二等(八名)竹崎米雄、相良かず、岡守元、宮四主、井上周吉衛門、竹友ひさよ、村山國太郎、黑田[illegible]

天氣 くもり
曇り 十一月九日 (八日午後六時發表)

陰曆九月廿二日 西曆十一月九日
日出 七時五分 日沒 五時廿九分

種々の名稱を附した類似品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり御注意を乞ふ
御大典記念品は 宮内省御用品の スワン萬年ペン に限る
各地到る所の文具店に販賣せり最寄にて御用命を乞ふ 大阪平野町 式スワン大阪出張所

高田商會 仲買店
週報
●採算時代に入れる期米
米價調節調査會は一般の豫想に反し殆んど不得要領に閉會し漸く應急策二三の決議を見たるも是れとて直ちに實行は困難なるべく要するに前途尚遼遠と見るを至當とすべく芳々九月三十九錢の再落を演じ茲に新甫一帶地十二月限は又々四十錢内外の高直を見たる當月限に迎ふる事と相成り中候處既に天災相場を終り採算時代に入れる期米は今後新穀の出廻り模樣、調査會の成行等に左右せらるゝは勿論なるも今尚五萬八千餘石の大取組を存せてる十二月限は其腰入れ益々深く是れが形勢如何に依つては意外の破綻を見る哉も難計候に付き御要許御利目を可要と存候
仁川海岸町 電話長二九番
株式會社 仁川米豆取引所仲買人

建築 平板 苙川 並浪 各種 ニス 煙草 軒樋 附屬 トーフ 器商 用ブ 併テ 掃除 調取 附進 責任 受負 業 家 丁
京城黄金町二丁目(電話二五四五番)
錻力商 田中吉太郎
御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

御大典の祝盃は 瑞祥顯なる銘釀 白鶴印に限る
大阪横堀 嘉納合名會社

入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目[鈴木醫院跡]
小林醫院
醫學士 小林千壽
電話六九二番

幼年画報増刊 十一月五日發行 定價金十錢 東京本町 博文館
オメデタウ
▼目出たい盡しの繪と噺、美しくつて面白い、見ては喜ぶお子達の、▼どなたもニコニコお目出たう!!

移轉御披露
謹啓先般來市區改正の爲家屋取壞し左記場所へ改築中の處今般落成と同時に移轉仕り從前の通り營業致候間茲に御披露申上候 敬具
十月三十日
京城黄金町二丁目(電話一〇一五番)
時計商 喜多金光堂
振替口座七八二番

●奉天奉祝準備

御大典に就きては在外臣民慶賀の誠意を遺漏なく發揮せんとし奉天に在住せる邦人は城内十間房附屬地とりに約一箇月前より委員を設けて準備に怠りなかりしが奉祝方法は一般的には總領事館區内の居留民は御大典擧行の時刻たる十日午後二時奉天神社境内に參集し附屬地在住民は驛内新築の貨物倉庫に參集し何れも京都の方に向ひて壽杯を獻げて陛下の萬歲を三唱し奉り其より城内十間房附屬地其々左の方法により奉祝する豫定なるが最終十六日の夜の提灯行列は附屬地は午後五時公園廣場に十間房は奉天座前に城内は五時半民會前に集合し各一團となりて城内外を押し廻る都合なれば一大壯觀を呈すべし

●平壤丸の就航

既報の如く大阪商船會社沖繩航路に就航し居たる平壤丸は門司浦鹽線就航として朝郵會社が購入し七日門司より入港したるが同船は明治三十六年神戸川崎造船所に於て建造したる千二百三十九噸長さ二百十二尺巾三十一尺五寸吃水二十尺速力十二浬半の汽船にして船長楠瀬直太郎氏、機關長明石彌次郎、事務長小西慶四郎、一等運轉士大野通輔氏等乘組員たりと尚ほ同船は七日浦鹽に向け出帆したり

●群山課税價格變更

群山税關支署に於ては來る十六日より左記の如く課税價格を變更實施すべしと

大豆上一石四圓八十九錢、大豆下一石四圓六十四錢、小豆上一石六圓六十五錢、小豆一石六圓五十一錢、小麥上一石六圓零一錢、小麥下一石五圓八十錢、荏胡麻子並百斤四圓六十七錢、牛皮並百斤四十九圓等なり

●賀表捧呈 忠清北道にては御大禮に際し道内各學校長より捧呈する賀表を便宜上取纏め七日其筋に對し差遞りたりと

●錦江橋の竣工 由來公州の地鳥致院公州間に於て錦江の横はるありて人馬共舟便にて不便尠からざりしより京城の片村庄次郎氏、公州日支局長丸山虎之助氏發起となり去る九月起工したるが愈々來る十二日架橋開通式行はるゝ筈なるが之によりて公州市民の利便尠からざる事となりたり

●御大典拜觀者 忠清北道各小學校代表者清州公立小學校長大塚歸藏氏及び道内普通學校代表者沃川公立普通學校長大野氏は相携へて六日出發上洛したり

●群山神社上棟式 群山に於ける御大典記念事業とせる群山神社の建設は御神殿拜殿社務所共全部落成を告げ七日午後一時より上棟式を擧行したり天野府尹以下神社建設委員數名參列神官の祓詞奉讀供饌上棟祝詞奉讀ありて諸員禮拜の順序に依り壯嚴に式を終り參拜者には紅白の餅を撒き非常の賑を呈したり

●公州の聯合運動會 七日午前九時より公州小學校々庭に於て小學校、普通學校、農業學校聯合大運動會ありたるが運命競爭、假裝競爭、養蠶競爭、本道農産物行列、來賓提灯競爭等最も興味を惹きたり尚本社公州支局にては奉祝萬歲旛一旒、捲煙草數個寄贈したり

●巡回文庫を設く 忠北各學校教職員は小學校と普通學校の二組に別れ一つの讀書機關を設け各會員より一定の會費を徵收し月々有益なる新刊書籍を購入し日割順に回送し閲讀する巡回文庫を組織すべしと

●朝鮮に於ける撫順炭

一箇年の朝鮮輸入額二十二萬噸=三年間の奮鬪振り

朝鮮に輸移入する石炭は昨年度に於ては約三十七萬噸に達して居る、其内撫順炭は二十二萬噸、九州炭が十五萬噸になつて居るが

△撫順炭廿二萬噸の内には朝鮮鐵道局との契約分十五萬噸を含んで居るから一般用としては消費されたのは七萬噸であつて九州炭の十五萬噸に比すれば半數にも達せない譯である、朝鮮石炭界の現況は撫順炭に壓倒せられ居りて撫順炭專賣の觀あるも統計の示す所に由れば撫順炭は未だ〳〵奮鬪の餘地を殘して居る昨年撫順炭も當朝鮮に販路開始以來滿鐵鑛業課出張所を設置し又三國商會西村商會等の特約販賣人を指定し專心販路の擴張に努力したる爲め僅かに二箇年の短日月に於て著しき發展をなし隨つて世の注目する所となつたのである如斯撫順炭が發展を爲したる原因に付ても種々の理由存する中に最も特記すべきは第一、撫順炭は出炭無盡藏にして炭質優良品種一定し居り容易に素人目にても其の品別をなし得る事、第二、滿鐵出張所直接監督獎勵し特約人等に於て充分に品量の正確を重んじる事、第三、價格比較的割安にして他炭の及ばざる事現に一昨年昨年度の如き内地炭價非常に暴騰したる際の如きも大會社の經營なる丈けに撫順炭は一匣の値上げをも決行せず

△依然舊來の價格を以て良質炭を割安に供給したる爲め他商人の眞似が出來ざる處にして若し其當時撫順炭の輸入なかりしかば朝鮮に於ける需要者は非常に割高なる九州炭を忍んで使用して居らねばならぬ狀態であつたが幸に少くも二圓以上割安の撫順炭を經濟的に使用し得られたるは消費者に於ては非常なる幸屬にして是等の點は撫順炭の尤も特記すべき消費者に於て利益と認むべき點に由るのである第四、特約販賣所三國商會西村商會は斯界に見る惡德商人の群に投せず何處迄も商德義を重じ眞面目に日夜惡戰苦鬪したる結果も大に撫順炭の聲價を高めし一理由として見るべきものと思はる現に三國商會の如きは鐵道沿線到る處代理店を設置し一貨車二十五噸積を頗る輕便に

△迅速に山元より直輸送販賣し居れば九州炭の如き一時に多數の數量を引取る如き不經濟的なる憂慮なくして簡便の取引方法を行ひつゝあり爲めに沿線の石炭消費者は從來の九州炭に比し非常に割安の品を安全に需要し得ることゝなり居り地方の好評を博しつゝある事なきにあらず以上の如く九州炭、撫順炭共に一長一短はあれ共九州炭は各個商人が其間に於て互に鎬を削りつゝ販賣するものなれば弱ひ競爭を免れず隨つて弊風を起し品質の不統一を來すに至るは甚だ遺憾の事にして九州炭に於ても之等の點は將來大に改良せねばならぬ然るに撫順炭は之れに反し凡ての機關を具備し

△滿鐵會社の統一したる方針の下に步調を一にして步武堂々大に對抗せんとしつゝあるものなれば撫順炭將來に於ける勢力は過去に徵し侮るべからざるものなり世の中の進步に伴ひ自然の競爭は免れ難きとにして需要者に於て競爭多きは比較的割安の品を購入出來る利益に浴することならんも之れには又之れに伴ふ種々の弊害がありますから朝鮮に於ける石炭の消費者もより以上石炭の智識を貯へ唯安物を買つて與落すの目先きの利害に迷はれずして價格の際に價格と品質とを對照せられ價格本位に流れずして品質本位の考へを以て購買せらるゝ樣篤と研究せねばならぬ

△朝鮮に於る燃料 不足の聲は年々高まりつゝある際滿鐵の如き大會社は一は以て國家的地上より一層努力販賣をすべきは勿論九州炭の側に於ても大に之と對抗し今少し向上したる商略の下に大に發展を期せねばならぬ今や追々石炭消費の時期に向ひしにつき燃料として石炭購入する場合には今日迄一般の世評に依り三國商會は尤も文明的なる確實の營業をなすものと共に許し居る處なれば消費者に於ても利害の研究を重ね可成經濟的なる燃料を使用するに心掛けねばならぬ

入京せる松井須磨子

寫眞 出張撮影銅版引延 大和町一の二四 電話二四二九番 朝鮮寫眞通信社寫眞部

十八分間の停電となりたるも同二十八分運轉するに至れり

と共に備付けの消防喞筒を以て防火したる爲倉庫一棟全燒するに至らず午後十時頃鎮火したり發火の原因及[illegible]

●車賃の横領 原籍徳島縣徳[illegible]十四日仁川府濱町にて取押へ取調べ[illegible]居り夫の父なる貢鐘五より其不心得を說諭されたるを不滿に思ひ六日午[illegible]

●連絡船上陸客 七日午前入[illegible]

商況

東京株式特電

東京期米特電

東京債券現物特電

東京公債直取引

深川在米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

朝鮮物産特電

雜報

●株式反動不勢

[illegible]

期米 吉 行實仲買店 岸町三丁目 電話長九一二、四二二、三〇九 略ユキ

●輕油は品切

●需要漸次多く

●混合用として

●移入中絶の姿

●白絞油益昂騰

●當十一圓處に相

●現狀を維持

●鹽鯖荷動不振

●徐々二三厘方

●上値に荷動き今一段

●新明太魚内氣配

●蜜柑弗々入荷

●十九圓見當

●一梱二圓

●三十錢處

●鹽鮭漸次强硬

三 顧客本位正確神速 仁川米豆取引所仲買人 ヒサ 仲買店

下關相場

京城正米

南大門廻着米

期米賣買 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 イ 今村覺次郎 電話 長三三七番 三六八番 電略イ又「イマ」

仁川現物市場

仁川期米

八日前場 三節十三圓九十七錢と安移

市場零聞

前場の商戰

▲本場底强し

▲賣物薄

▲市場は閑散

▲强弱の腰入

▲益深

▲正米移出旺盛

▲新米の移出

▲買注文入込

▲内地違作程度

仁川米豆取引所 八日の一月限

北濱だより

△お鉢は鐘紡

△京阪買狙はる

[illegible]

演藝案内

詩館 電話一〇五〇 本町 [illegible]

御成座 電話二九一 壽町 小島旗之助 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八十三番 [illegible]

有樂館 本町一丁目 電話二六六 新築落成 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 [illegible]

佐久良座 龍山 藝術座 島村抱月 松井須磨子 一行 九日初日開演 一、復活「カチユーシヤ」 二、剃刀「新社會劇」

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四一番 [illegible]

內地銘酒 三百五十石
右破格の廉價を以而賣却可仕候間多少に不拘御用命奉願候
壹斗以上移代及各驛に至る迄の運賃當店負擔す
大邱北旭町 齋藤酒店 (電話三四九 振替八二六番)

今日迄葬の際は御繁多御遠路の御會葬被成下難有奉存候一々拜趨御禮可申上筈なれ共ご貴名伺ひ洩れも難計乍略儀以紙上御禮申上候
妻 阪本ミツ子
五島榮藏
中村直吉

期米
大阪堂島濱通壹丁目 堂島米穀取引所仲買人 原潮商店 電話長(一三〇八、三〇九、一六〇一)
期米週報及び期米賣買手引書御一報次第無代進呈致候

恐るべき傳染病の豫防消毒には
アイゼル

謹告
天地のむた窮なき天津日嗣の御位にのぼらせ給ふ御大典を祝ぎ奉りて十日は謹で一同は休業仕候猶十七日までの御大典中は一同紋付の晴衣にて御招に預り候へ共線香料は値上げ致さず候間不相變御ひいきの程祈りまゐらせ候
京城 中券番謹白

廣告
御大禮奉祝の爲京城府民奉祝宴會擧行候に付有志の諸彥は左記御承知の上會費相添へ御申込相成度候
記
一日時 十一月十七日午後一時
一會場 京城景福宮内慶會樓
一會費 金一圓
一申込期限 十一月十二日正午迄
一申込所 京城府廳内務係 龍山出張所
大正四年十一月 日
御大禮奉祝會委員

越後大評定

第三十八席 早川貞水口演

火責め水責めの拷問

サア番頭金兵衛心配して、主人金兵衛を御縛り下さるならば私を何卒御縛り下さるやう 孫『控へろッ』金兵衛妻が 妻『金兵衛は何事も知らぬ者私を御縛り下さい 孫『控へろ〳〵ッ……ソレ引立て！』是から金兵衛を引立て、段々吟味を致しましたが既う金兵衛覺悟をした、懲ひこの所で、金三郎お千代を出した日にや、無論御死刑になるに違ひない。不若のこと、是は知らぬ存せぬと云ひ切つて、此身を捨て、二人の生命を助けるの外ない、と何と御奉行が吟味しても、何うしても云はぬ 孫『コレ金兵衛よつく聴けツ、其方こゝに知らぬ存せぬと、奉行の前を詐ると雖も、最早承知の上にて金三郎千代の兩名を、何れへか落したに相違ない有り體に白状いたし、御慈悲を願つたら宜からう、若し其方が剛情張る時は、是非に及ばぬ拷問に掛るが如何ぢや 金『假令水火の拷問を受けましても、知らぬ事は申し上げ兼ます宜しく御賢慮を』町人ながら大丈夫の決心動く樣子がない 孫『なか〳〵汝は剛情な奴、それなら宜しい』と是から火責、水責の拷問にかけましたが、一向に云はぬ、段々疲勞して色あをざめ、身體日々に衰へるのみそれでも白状せぬに依つて、殿忠直公より、金兵衛を水牢に押込めと仰つしやる、酷いと思ふけれども、殿の御諚、仕方がない愈水牢と云ふとになつて、サア此事がそれとなく萬屋、松屋へ分りましたから、日々の嘆願、金子に絲目を付けずして、其筋、其筋へ對し、段々と取入つたがどうも御聽済がないと云ふのは、忠直公から直接の御沙汰であるから、何としても取上げることが出來ないそこで番頭の六兵衛が『さて御内儀さん、とんだ事になりました、今日私も漸うのことで、御牢内の容子を見ましたが、旦那様は胸の邊まで水に浸つて居ります、あの分では既う長いことはなからうと思ひます、何うも旦那が斯う云ふ始末で居らつしやるを、若旦那様へ知らせないと云ふ譯に參りませぬに依つて、兎に角、私が夜を日に繼いで、越後の新潟へ參り、若旦那様に御目に掛り、此御話を致しませう、又若旦那様にも、何とか御考へが御坐いませうから 内『それではお前、さうしておくれ 六『既う此上は、假令どうならうと、金三郎お千代の二人を此方へ嗅ばなければ、迚も始末が附きませぬ希うかお千代さんが、殿様の御心に從つて下さいますればそれで何とか穏かになり、大旦那様の御生命も助からうかと存じます、兎に角、私が參りますと、忠義の番頭六兵衛で御坐いますから、是で支度をして、書夜道程を急ぎ、越後の新潟、佐渡屋と云ふ親類の所へ往つて、仔細を話す、佐渡屋一家も驚いたが、金三郎お千代も愕然して、是は聞捨てにならぬ、大事な親の一命に拘はる、此身を捨ても親を助けなければならぬと、サア金三郎一生懸命 金『お千代六兵衛が今も云ふ通り、阿父様は水牢へ入つて居らつしやる、希うか是から私は引返し、阿父様の生命を助けなければならぬと思ふが、お前は何う思ふ 千『希うか然うして下さい』

東京藝術座一行
島村抱月
松井須摩子
愈明九日より花々敷開演す
龍山 佐久良座

十一月十日九星
暦十月四日乙巳
本命一白北破先負

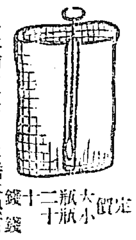
▲一白● 行儀作法を穿んで身を守るの日 新事見合ひ方は吉 暗劍北▲二黑● 約束違ひを生ぜんさす 新事手拵舊事は吉 一切の刺事を禁ず▲三碧● 慶賀の日 轉居入學金作名望求職井戸堀普請婚姻等皆吉▲四綠● 勝れたる日 轉居開業等皆進で吉▲五黄● 油斷大敵の日 諸で新事手拵舊事は吉 萬口嗜にせ 女子は眾以上の目論ある大吉祥の日也▲六白● 祝福の日 轉居入門開業等皆吉▲七赤● 縁談萬吉 慎みて事を圖るに妙 轉居旅行名弘金談紙細等皆吉▲八白● 老衰氣味の事有り 新事手拵舊事は吉▲九紫● 青女難おもしもの川心の事 手拵常の事は吉 衛生に注意せらるべし

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病
腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 疳瘡 皮膚病
專問
永樂町二丁目 金光敷會隣り
安部醫院
電話四一九番

一千反限りの投退
流行新機 高貴織
一反只の貳圓貳拾錢
數年間呉服類の格安亂賣をなし已に數十萬の御得意先を有し手堅く營業をなしつゝある東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店にて今回一千反限りの大賣出しをなし日々大山の崩る程大賣行をなしつゝある東京新流行品新機高貴織は柄合の奇拔たる地質と云ひ光澤と云ひ一見十圓以上の本場高貴織に負けぬ上等品也而も勿驚一反タッタ二圓貳十錢と云ふ丸で只の樣な馬鹿値に投出し且大賣出しの紀念として一反の注文に一筋宛の優美高尚なる西京西陣製の新柄新羽二重片側女帯地の無代進呈をなすと云ふは實に他店の模倣の出來ぬ思ひ切たる大英斷也因に地方の希望者は同店宛ハガキにて男女別年齢を記し申込ば責任を持て柄合親切に擇び代金引替送料も實費で送る由

驚くべき目藥
醫學と藥學の進歩は年々著しいから、目藥のよふな物も勿論、學理と實驗により、進んだものを、用ひねばなりませぬ
ロート目藥は、名高い東京眼科病院長井上博士が、多年其病院で、有ゆる患者に實驗した一番よい處方を嚴正な大前藥學士の監査をした眞に理想的の目藥……安心して用ひられる目藥です
目に見へてズン〳〵ときく
シユマズ
イタマヌ
井上博士のロート目藥とはそれ此通りです
試に他の目藥が利かぬ時！
ロート目藥を試して見給へ！
ロート目藥は一切の眼病に奇効ありますが、併しソコヒには効がありませぬ
眼病を、不潔な布や指頭で擦るのは目の爲に悪いからロート目藥には消毒した布と新藥の眼膜を添へてある

定價 大瓶二十錢 小瓶十錢
（下圖の如し）



ロート本舗は東京日本橋本銀町三丁目山田安民藥房なれども全國各藥店で受賣して居ります

醇良清酒

調進發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

▲無効返金 百圓進呈▼
麻病 一週間分 特製參圓 普通貳圓 送費十二錢
黴毒 一週間分 特製貳圓 普通壹圓二十錢 送費十二錢
右新劑麻病藥は治麻劑として黴毒藥は經黴內服藥として方今世界の醫學上藥學上第一有効と確認せられ東京、京都、九州帝國醫科大學病院等に於て卓絕せる効力有りと賞揚配劑せられつゝありて衛生試驗所が検査封緘せる正確なる高貴藥を主藥として製劑しある事を保證す、這は素人騙しの出鱈目にあらずして斯界の學士、博士の前に斷言するを憚らず何人にても分析の結果前述の證言に違ひあるを發見せらるゝときは分析料として金百圓を進呈す
あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君よ、兎に角最後の手段として一度當商會へ來れ論より證據に無効の時は代金返金す。◎本劑は他店に無し直接申込あれ◎詳細は本月三日の朝刊を御覽被下候（照會は返信料添附の事）
○本舗 大阪合資會社 ドラッグ商會
京城南大門外 ドラッグ商會滿鮮本部 電話二五六七番 振替京城四六七番
りん病 ばい毒 專門藥房
◎支店 黄金町。龍山漢江通。元山仲町。釜山南濱。

安州炭と明治炭
品質優良價格低廉、經濟家の福音
明治鑛業株式會社朝鮮支店
安州炭坑石炭販賣所 平壤本町（電話一一六番）
安川松本商店石炭販賣所 鎮南浦三和町（電話三〇番）
白上商店 京城大和町一丁目（電話九五五番）

化粧石鹸ライオン

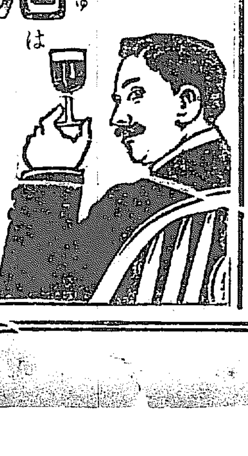
御大禮御用品として
每に畏き邊りの御用を蒙つて居るレート化粧料は今回大禮使調度部より御詮考御指名を以て御用を賜るの名譽を得ました殊にレートフードは新に製された新式美容液で自然化粧として殊に優て居ります
新式の美容液
ホンノリと色白くなる
レートフードは
使へば直ぐメキ〳〵と色艶美くしくなる

東京 平尾贊平 大阪

廣島名産
山まゆ織
冬物品揃抑一般大勉强 御見本進呈す
廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪二〇六九

電九九八番

百萬金を投ずるも健康は購ひ難し
蜂印香竄葡萄酒は
朝夕一杯宛にしてよく
身体の健全を保ち精力の增進を來す
何となれば無限の滋養と其美味とは
すべて血となり肉となり力となる
内外國の最高金牌廿四個受領



發賣元 東京本町 近藤利兵衛

ぢ
痔に苦む人の多いのに醫術の進んだ今日でもキルとか注射を唯一の療法として眞の妙薬を發見し得ない自分も此病で十年も困難した先年大學で故ベルツ博士に診療を乞ひ御處方藥で速に治た其後同病知人に與へ又醫者にも推奬して其効果の偉大なる不思議の特効藥なる事を確認した故〇〇痔妙散と名け七日分一圓で廣く希望者に頒藥す貧困者には人助に施藥す（町村長の證明書と印紙代送）（郵七日分廿錢送料要す）
東京馬喰町三丁目 振替二一〇五四 電話浪三六八四 開球盤發賣元 大一商店

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
入院隨意
酒井婦人病院
電話二六〇番

汽車 京城 南大門 龍山 ……